たておう だより Vol.18

2026.10月号

一般社団法人館林市邑楽郡医師会

在宅医療介護連携相談センターたておう

相談センターたておうは
医療機関や介護関係者の連携を
推進するための専門職専用の相談窓口です

第38回たておう合同学習会







日　時：令和８年5月19日（火）20日（水）
　　13：30～15：00
会　場：邑楽町役場3階大会議室
演　題：第4回「救急隊員と医療・介護の顔の見える会議」
講　師：館林地区消防組合消防本部 指令救急課救急管理係
　　課長補佐兼救急管理係長 飯島　康明　様
内　容：1.講演「急変時の対応」
　　～症例から学ぶ救急搬送時の連携と情報共有の重要性～
　　2.グループワーク
　　（症例検討・急変時の対応で困った事等意見交換会）
参加者：19日（火）88名
　　20日（水）68名　合計156名

救急情報シートの改訂も含めた講演会、グループワークでは、救急救命士が各グループ１名参加し、意見交換会を行いました。19日には、太田消防からのご協力もあり、とても充実した合同学習会となりました。また、救急情報シートの使用状況も徐々に向上しています。これも皆さまのご理解とご協力のおかげです。ありがとうございます。

第39回たておう合同学習会







日　時：令和8年7月21日（火）13：30～15：00
会　場：邑楽町役場3階大会議室
演　題：「『身寄りがない』にどう向き合うか
　　～保証人・お金・亡くなった後のことまで～」
講　師：一般社団法人 福祉ネットいつの和
　　代表理事　須田　和也　様
内　容：1.講演
　　2.グループワーク
参加者：78名



「保証人を頼める人がいない」「亡くなった後のことはどうしたらいい？」本人が抱えている困りごとを整理し、一人ひとりに合った支援につなげることの大切さ、身寄りのない方が安心して生活できるよう、関係者（専門職）が連携して支援することの大切さを学ぶ機会となりました。

第40回たておう合同学習会





日　時：令和8年9月15日（火）13：30～15：00
会　場：邑楽町役場3階大会議室
演　題：「認知症と精神症状 気付きやケアのポイント」
講　師：医療法人康生会（社団）つつじメンタルホスピタル
　　精神保健指定医　西田　晴菜　先生
参加者：86名

患者を診る医師の視点から、認知症とせん妄の背景や認知症とうつ病うつ状態の違いなど症例を通して、わかりやすくお話していただきました。質疑応答では、具体的な対応方法を交え、とても丁寧にご回答してくださいました。参加者にとって大変参考となる内容でした。

第51回 たておう研修会



日　時：令和8年6月11日（木）19：00～20：30
演　題：グリーフケア講演会
　　「当事者の声から考える 本当の意味でのよりそいとは」
会　場：公立館林高等看護学院2階視聴覚室
講　師：NPO法人キッズバレイ グリーフケア・ネットワークぐんま
　　「ことのは」
　　看護師・グリーフケアアドバイザー　丹羽　美礼　様
　　グリーフケアアドバイザー　中村　沙樹　様
参加者：58名

大切な人を亡くしたとき、悲しみや寂しさ、喪失感など、様々な気持ちを抱えることがあります。今回の講演では、こうした大切な人を失った方の気持ちに寄り添う「グリーフケア」について学びました。悲しみや立ち直り方は一人ひとり異なること、無理に悲しみを乗り越えようとせず、その人の気持ちに寄り添うことの大切さについてお話いただきました。実際の経験から貴重なお話を伺い、「グリーフケア」について理解を深めることができました。ありがとうございました。

住民公開講座





日　時：令和8年10月3日（土）14：00～16：00
演　題：「骨は何歳からでも若返る！
　　意外と知らない食事と体操の秘訣とは？」
会　場：日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール
講　師：愛知医科大学整形外科・特任教授
　　骨粗鬆症・ロコモ・関節疾患センター部長
　　中村　幸男　先生
参加者：492人





中村幸男先生を講師に迎え、骨をテーマとした講演会を開催しました。
参加者は30代から90代までと幅広い年代にわたり骨の健康への関心の高さがうかがえました。また、中村先生が考案し、商標登録されている「かかと落とし」や「おへそひっこみ体操」についても紹介され、正しいやり方を学びました。参加者からは、「食事と運動の大切さを改めて実感した」「かかと落とし体操の正しいやり方を知ることができて良かった」「骨は何歳からでも若返るというのは希望がもてた」など、感想が寄せられました。今回の講演が、日々の生活習慣を見直し骨の健康づくりに取り組むきっかけとなれば幸いです。たくさんの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。

ACP ～もしもの時に備えて～





こちらからダウンロードできます



ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）は、もしものときに備え、本人が望む医療やケアについて、本人を主体に、家族や信頼できる人、医療・介護関係者と繰り返し話し合い、想いを共有する取組みです。「人生会議」という愛称でも知られています。ＡＣＰは、人生の最終段階に受けたい医療やケアを決めることだけではありません。日頃の会話から本人の価値観や希望を知り、その想いを本人に関わる人たちで共有していくことが大切です。当センターでは、ACPを考えるきっかけづくりとして、エンディングノート「MOTTE（もって）」の配布に取り組んでいます。初版発刊からこれまでに地域の皆さまへ累計５０００部配布してきました。ご希望がございましたら出前配布も行っておりますのでお問合せください。また、ACPについて分かりやすくまとめたチラシを作成しました。本チラシは、各市町からの介護保険証に同封して配布されます。右上の2次元コードまたは相談センターたておうホームページからダウンロードいただけますので、ぜひご活用ください。

お問合せ
在宅医療介護連携相談センターたておう
〒374-0043館林市苗木町2497-17
TEL：0276-55-0118　FAX：0276-73-0215
✉tateou-soudan@mail.gunma.med.or.jp